

8 男女共同参画施策について

27-1 男女共同参画の言葉についての認知度

問27 あなたは次の言葉を知っていますか。(①～⑩の項目それぞれについて1つだけに○印)

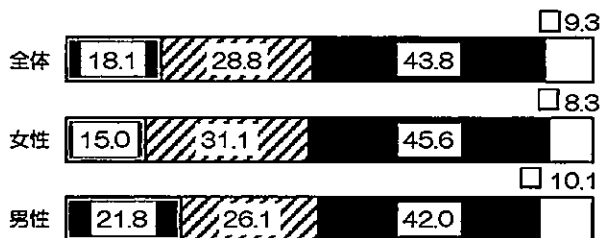
ポイント

- 「②男女雇用機会均等法」、「⑥DV防止法」は『知っている』人が7割以上と男女を問わず認知度は高い。
- 「⑧性暴力救援センター和歌山(わかやまmine(マイン))」、「⑨ワーク・ライフ・バランス」は『知らない』人が7割以上と認知度は低くなっている。
- 「①男女共同参画社会基本法」、「③和歌山県男女共同参画推進条例」、「④社会的性別(ジェンダー)」、「⑤ポジティブ・アクション(積極的格差改善措置)」は男女の認知度に大差はない。

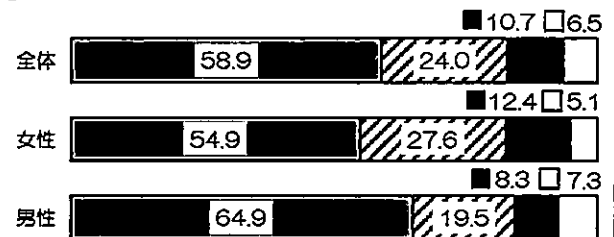
図27-1-1 男女共同参画の言葉についての認知度

全体：1,021件
女性：566件
男性：436件

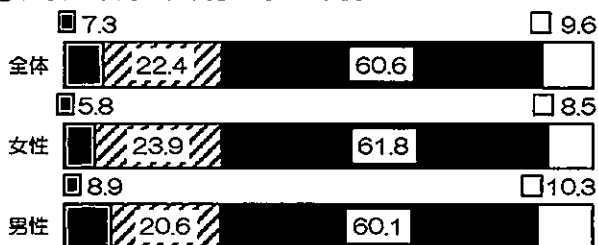
①男女共同参画社会基本法



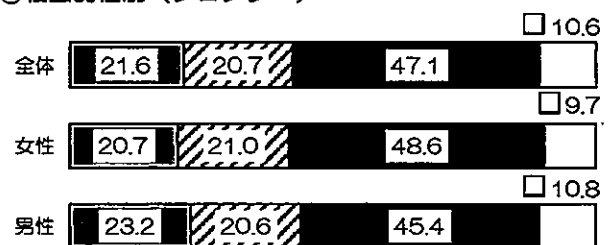
②男女雇用機会均等法



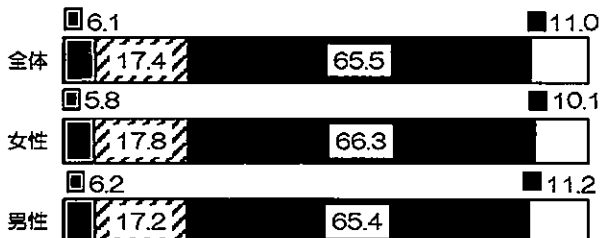
③和歌山県男女共同参画推進条例



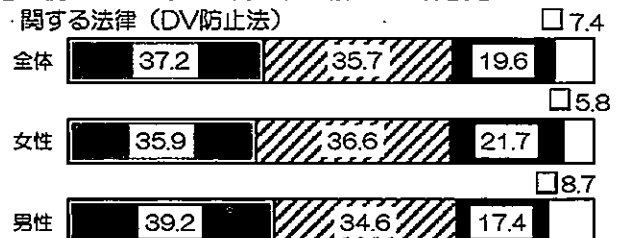
④社会的性別(ジェンダー)

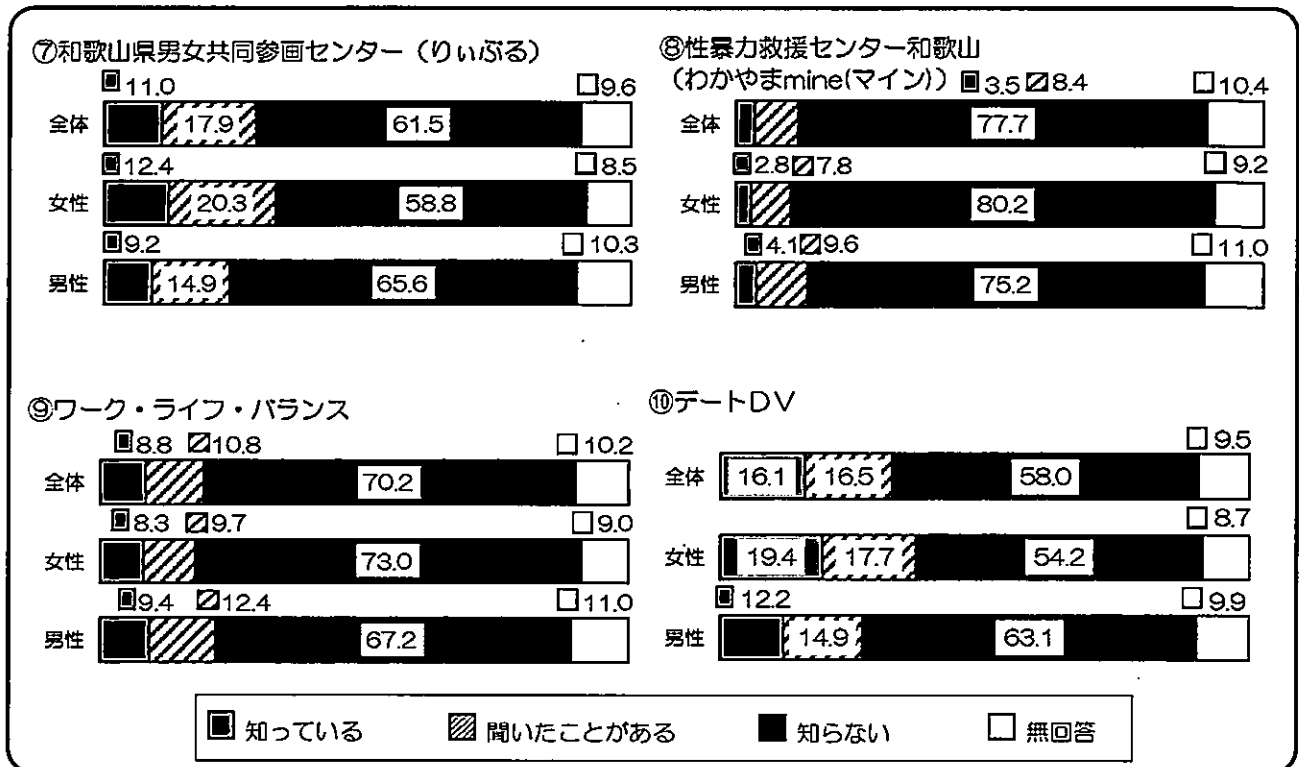


⑤ポジティブ・アクション(積極的格差改善措置)



⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)





男女共同参画の言葉についての認知度について、「①男女共同参画社会基本法」では、全体で「知っている」という人は18.1%にとどまっているが、「聞いたことがある」という人を合わせた『知っている』は46.9%と半数近くになっている。性別にみると、「知っている」という人は6.8ポイント男性の方が高い。

「②男女雇用機会均等法」では、全体で「知っている」という人は58.9%と高く、『知っている』は82.9%となっている。性別にみると、「知っている」は10.0ポイント男性の方が高い。

「③和歌山県男女共同参画推進条例」では、全体で「知っている」という人は7.3%と低く、『知っている』は23.5%と「知らない」(60.6%)を大きく下回っている。

「④社会的性別(ジェンダー)」では、全体で「知っている」という人は21.6%、『知っている』は42.3%となっている。

「⑤ポジティブ・アクション(積極的格差改善措置)」では、全体で「知っている」という人は6.1%と低く、『知っている』は23.5%にとどまっている。

「⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」では、全体で「知っている」という人は37.2%と高く、「聞いたことがある」という人35.7%となっている。

「⑦和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」」では、全体で『知っている』は28.9%と低く、「知らない」(61.5%)という人を大きく下回っている。性別にみると、「知っている」、「聞いたことがある」という人はともに女性の方が高く、『知っている』は8.6ポイント女性の方が高い。

「⑧性暴力救援センター和歌山(わかやまmine(マイン))」では、全体で『知っている』は11.9%にとどまり、「知らない」(77.7%)という人を大きく下回っている。

「⑨ワーク・ライフ・バランス」では、全体で『知っている』は19.6%にとどまり、「知らない」(70.2%)という人を大きく下回っている。

「⑩デートDV」では、全体で『知っている』は32.6%、「知らない」(58.0%)という人を大きく下回っている。

(図27-1-1)

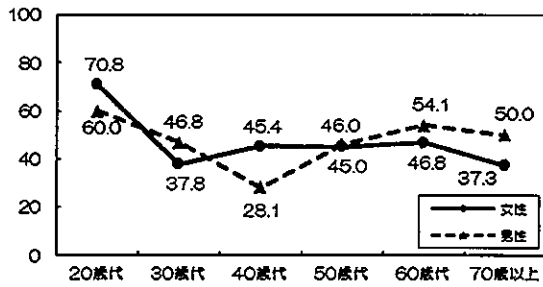
図27-1-2 性年齢別 男女共同参画の言葉についての認知度

【『知っている』と答えた人の割合】

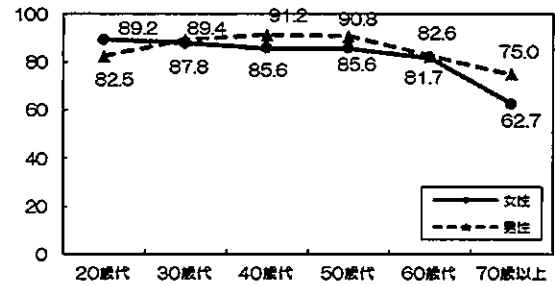
ポイント

- 性別、年齢にかかわらず、「②男女雇用機会均等法」、「⑥DV防止法」についての認知度は高い。
- 「①男女共同参画社会基本法」については30～40歳代での認知度が低く、「④社会的性別(ジェンダー)」については、若年層の方が認知は高くなっている。

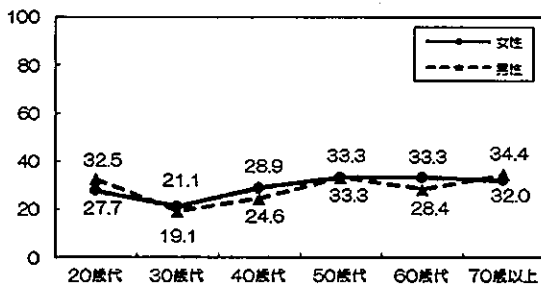
①男女共同参画社会基本法



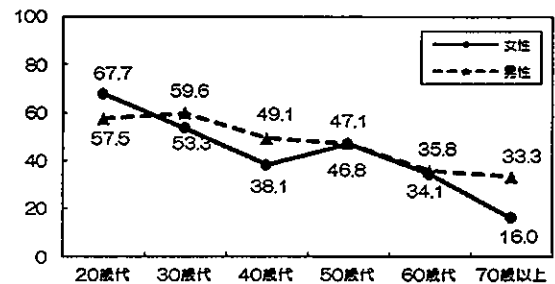
②男女雇用機会均等法



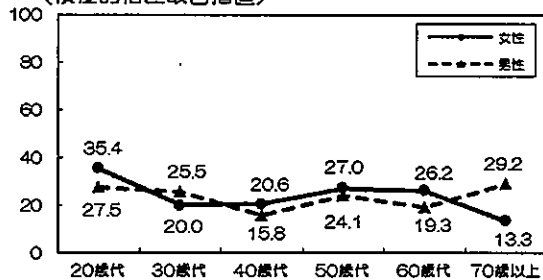
③和歌山県男女共同参画推進条例



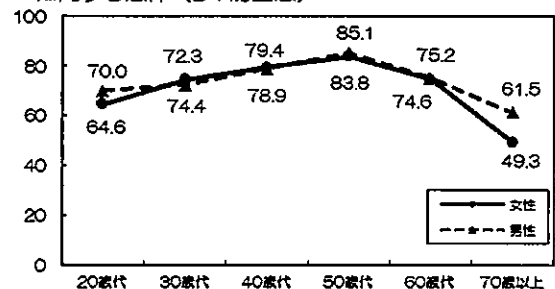
④社会的性別(ジェンダー)



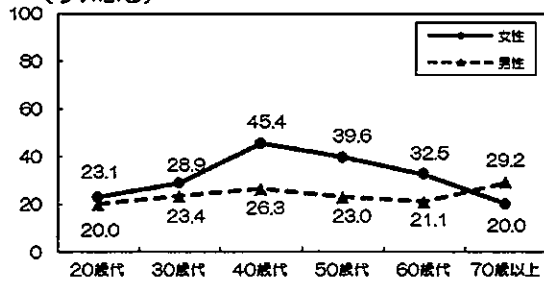
⑤ポジティブ・アクション
(積極的格差改善措置)



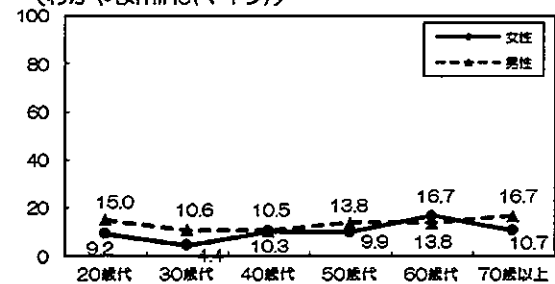
⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)



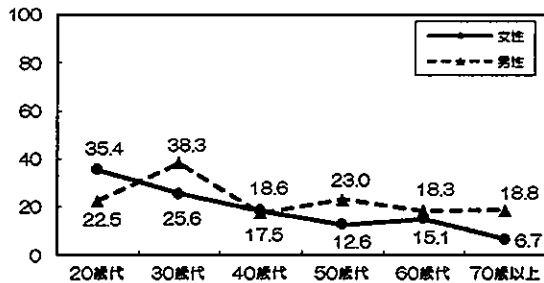
⑦和歌山県男女共同参画センター
(りいびる)



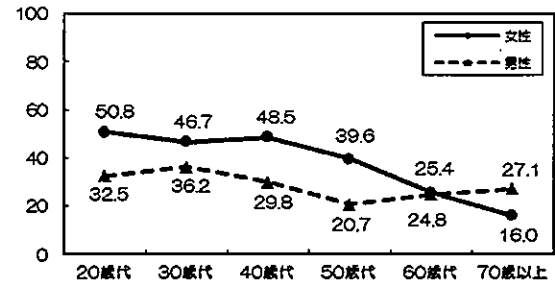
⑧性暴力救援センター和歌山
(わかやまmine(マイン))



⑨ワーク・ライフ・バランス



⑩デートDV



※「無回答」を除いた割合を記載している

※『知っている』は「知っている」と「聞いたことがある」を合わせたもの

※「⑩女性のチャレンジ支援」については特に70歳以上の女性の「無回答」が多かったためグラフに若干の偏りがある

男女共同参画の言葉についての認知度について、性別、年齢にかかわらず、「②男女雇用機会均等法」、「⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」では認知度がほぼ7割以上と高くなっている。

「①男女共同参画社会基本法」では、女性の20歳代で認知度が70.8%、「③和歌山県男女共同参画推進条例」では、男女ともにすべての年代で4割を下回っている。「④社会的性別(ジェンダー)」では、女性の20歳代で認知度が67.7%、男性の20歳代で57.5%と若年層で高くなっている。(図27-1-2)

28-1 女性が增える方がよい役職・公職

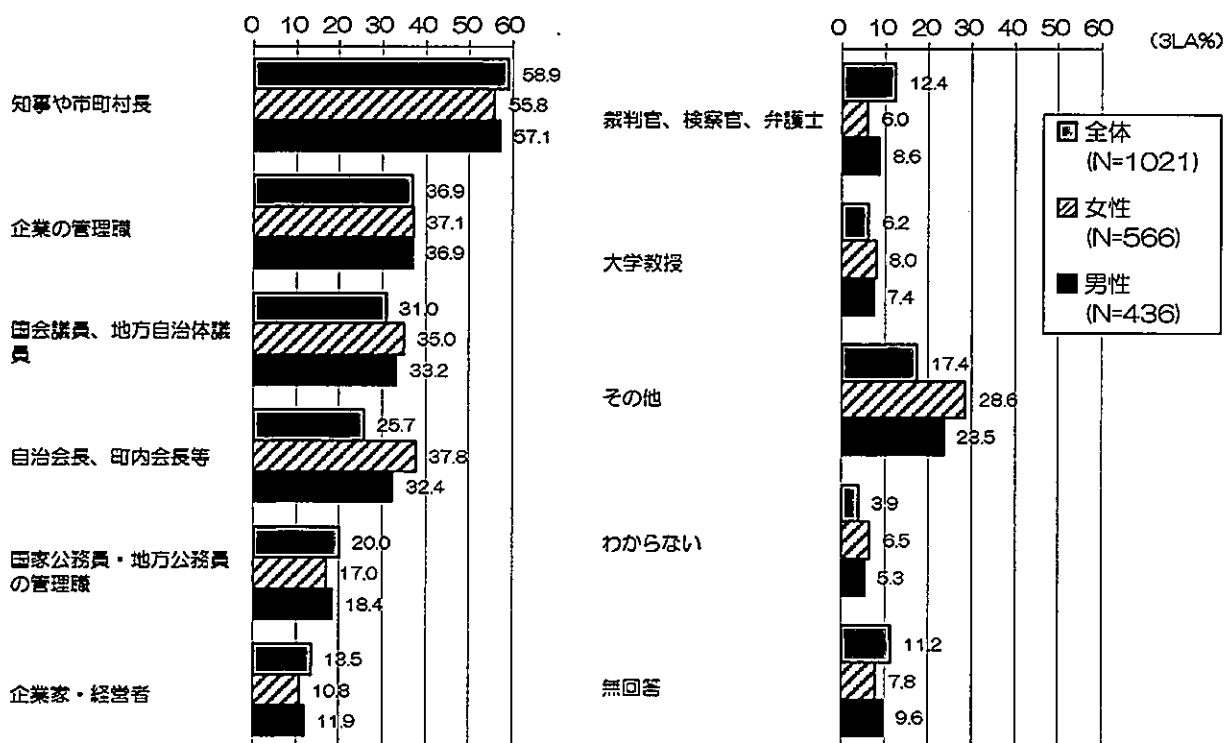
問28 仮に、あなたが今からあげるような役職、公職において今後女性が增えるほうがよいと思うものはどれですか(3つまでに○印)

ポイント

○「知事や市町村長」の割合が男女とも最も高い。

○女性で「知事や市町村長」に次いで割合の高いのは、「自治会長、町内会長等」である

図28-1-1 女性が增える方がよい役職・公職



女性が增えるほうがよい役職、公職について、全体では「知事や市町村長」で58.9%と最も高く、次いで、「企業の管理職」の36.9%、「国会議員、地方自治体議員」の31.0%となっている。逆に「大学教授」で6.2%と最も低くなっており、男女間においても差はみられない。

性別にみると、女性の「自治会長、町内会長等」が37.8%、「国会議員、地方自治体議員」が35.0%と、いずれも男性よりも、それぞれ5.4ポイント、1.8ポイント高くなっている。(図28-1-1)

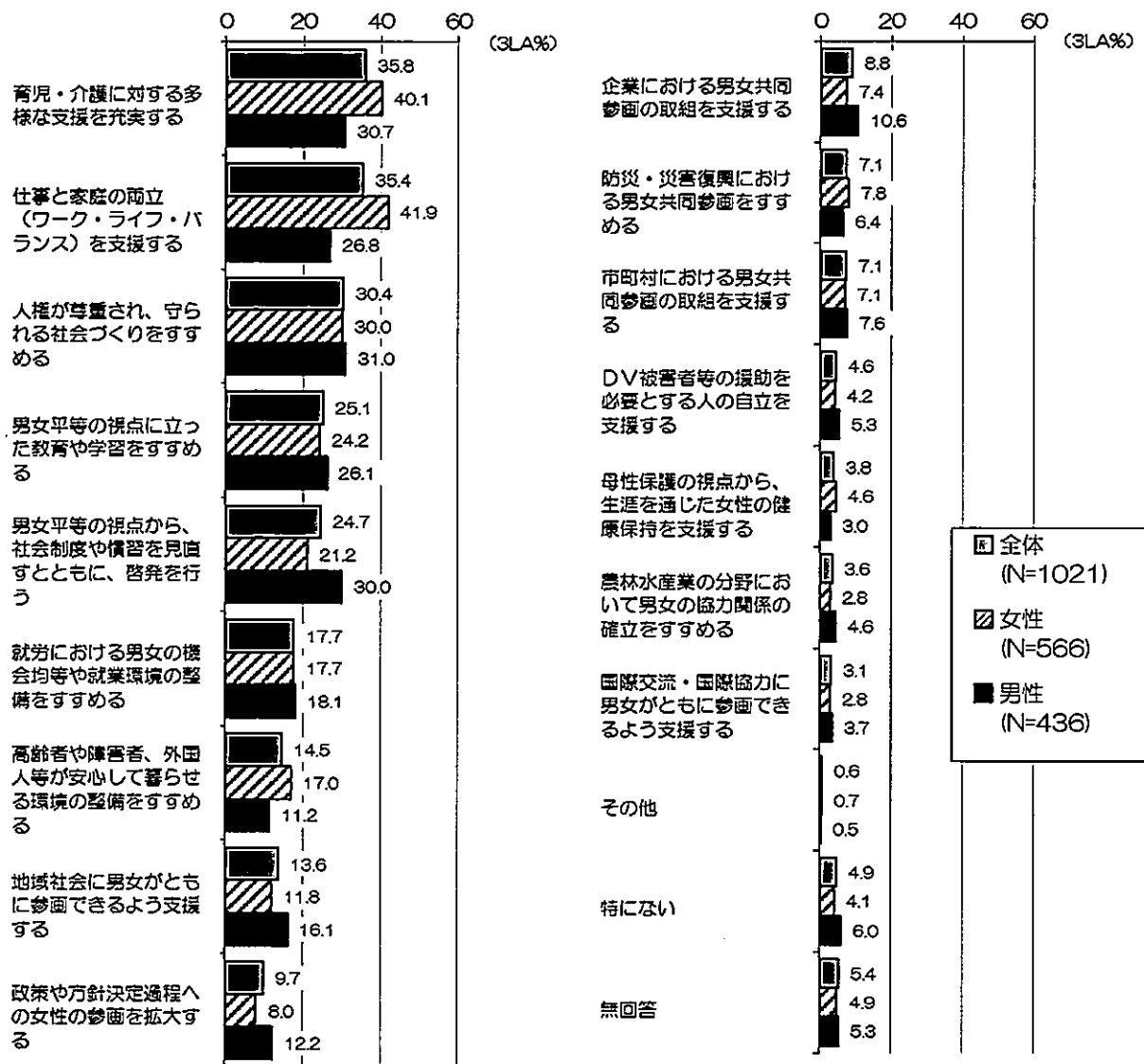
図29-1 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

問29 今後、和歌山県で男女共同参画を推進するために、県は特にどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。(3つまでに○印)

ポイント

- 「育児・介護に対する多様な支援を充実する」が最も多く、次に「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」が続く。
- 両項目ともに女性で割合が高く、男性との差が大きい。

図29-1-1 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと



男女共同参画を推進するために力を入れるべきことについて、全体では「育児・介護に対する多様な支援を充実する」が35.8%と最も高く、次いで、「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」が35.4%、「人権が尊重され、守られる社会づくりをすすめる」が30.4%の順となっている。

性別にみると、「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」で、女性が41.9%と、男性に比べ15.1ポイント高く、「育児・介護に対する多様な支援を充実する」では、女性が40.1%と、男性に比べ9.4ポイント高くなっている。「男女平等の視点から社会制度や慣習を見直す」では、男性が30.0%と女性に比べ8.8ポイント高くなっている。(図29-1-1)

表29-1-2 性年齢別 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

ポイント

○「人権が尊重され、守られる社会づくりをすすめる」の割合は、女性では50歳代で最も高く、男性では70歳以上で最も高い。

○「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」、「育児・介護に対する多様な支援を充実する」の割合は、男女ともに若年層で高くなっている。

	女性	育児・介護に対する多様な支援を充実する	仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する	人権が尊重され、守られる社会づくりをすすめる	男女平等の視点から社会制度や慣習を見直す	高齢者や障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備をすすめる	教育や子育てに関する支援を充実させる	地域社会の活性化を図る	企業における男女共同参画の取組を推進する	政治や行政サービスの向上を図る	防災・災害復興に関わる男女共同参画を推進する	性別平等の視点から社会制度や慣習を見直す	DV被害者の救済を図る	女性活躍の促進を図る	農村水産等の分野における男女共同参画の推進を図る	農林水産等の分野における男女共同参画の推進を図る	その他	未回答	不明	不明
女性																				
20歳代	65	46.2	63.1	29.2	21.5	21.5	23.1	12.3	6.2	3.1	7.7	7.7	7.7	9.2	0.0	1.5	9.2	1.5	1.5	0.0
30歳代	90	54.4	56.7	32.2	25.6	14.4	27.6	6.7	6.6	6.7	8.9	5.6	1.1	5.6	4.4	2.2	1.1	2.2	2.2	2.0
40歳代	97	41.2	51.5	19.6	30.1	17.5	16.5	13.4	11.3	6.2	7.2	5.2	4.1	6.2	4.1	2.1	1.0	4.1	2.0	2.0
50歳代	111	41.4	39.6	36.0	25.2	30.6	18.9	9.9	9.9	10.8	11.7	7.2	7.2	2.7	4.5	3.6	2.7	0.0	3.6	3.0
60歳代	126	34.9	31.7	33.3	17.5	25.4	11.1	26.2	16.7	9.5	4.8	10.3	7.9	4.0	4.8	2.4	0.8	0.0	4.0	9.0
70歳以上	75	24.0	13.3	28.0	20.0	13.3	12.0	33.3	20.0	8.0	4.0	10.7	14.7	1.3	5.3	2.7	4.0	0.0	9.3	12.0
男性																				
20歳代	40	45.0	35.0	25.0	27.5	20.0	25.0	2.5	12.5	7.5	12.5	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	2.5	0.0	10.0	0.0
30歳代	47	40.4	42.6	27.7	21.3	19.1	12.8	12.8	8.5	2.1	14.9	4.3	0.0	12.8	2.1	2.1	2.1	2.1	12.8	3.0
40歳代	57	38.6	36.8	26.3	26.3	22.8	21.1	3.5	12.3	14.0	8.8	12.3	8.8	5.3	0.0	5.3	3.5	0.0	5.3	3.0
50歳代	87	32.2	23.0	29.9	19.5	33.1	23.3	3.4	20.7	14.9	11.5	3.4	4.6	2.3	4.6	8.0	5.7	0.0	6.9	3.0
60歳代	109	26.6	22.9	26.6	22.9	30.3	16.5	13.8	22.0	16.5	11.9	9.2	13.8	5.5	0.9	5.5	3.7	0.9	5.5	6.0
70歳以上	96	18.8	17.7	43.8	37.5	35.4	11.5	22.9	12.5	10.4	6.3	4.2	9.4	2.1	5.2	3.1	3.1	0.0	1.0	8.0

「人権が尊重され、守られる社会づくりをすすめる」では、女性の50歳代で36.0%、男性では70歳以上で43.8%と最も高くなっている。70歳以上では、男女ともに「高齢者や障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備をすすめる」が高くなっている。

「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」、「育児・介護に対する多様な支援を充実する」では、男女ともに若年層で高く、女性では約5割、男性では約4割となっている。(表29-1-2)

表29-1-3 居住地域別 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

ポイント
 ○女性では、ほとんどの地域で「育児・介護に対する多様な支援を充実する」、「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」という意見の割合が高い
 ○「和歌山市」では、男性の「政策や方針決定過程への女性の参画を拡大する」女性・男性「無回答」以外のすべての意見で他地域よりその割合は多くなっていない

	全体	(3LA%)																		
		育児・介護に対する多様な支援を充実する	仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する	人権が尊重され、守られる社会づくりをすすめる	男女平等の視点に立った教育や学習をすすめる	男女平等の視点から、社会制度や慣習を見直すとともに、啓発を行う	就労における男女の機会均等や就業環境の整備をすすめる	高齢者や障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備をすすめる	地域社会に男女がともに参画できるような支援をする	政策や方針決定過程への女性の参画を拡大する	企業における男女共同参画の取組を支援する	防災・災害復興における男女共同参画をすすめる	市町村における男女共同参画の取組を支援する	DV被害者等の援助を必要とする人の自立を支援する	母性保護の視点から、生涯を通じて女性の健康保持を支援する	農林水産業の分野において男女の協力関係の確立をすすめる	国際交流・国際協力に男女がともに参画できるように支援する	その他	特になし	無回答
女性																				
和歌山市	196	37.2	46.9	25.5	20.4	23.5	18.9	19.4	5.6	9.7	10.7	9.2	5.1	2.6	5.6	2.0	2.0	1.0	5.6	3.0
海南市・紀美野町	40	37.5	47.5	15.0	32.5	27.5	15.0	15.0	10.0	5.0	7.5	2.5	5.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0
岩出市・紀の川市	62	50.0	48.4	37.1	41.3	12.9	19.4	14.5	9.7	8.1	3.2	8.1	4.8	0.0	6.5	0.0	1.6	0.0	3.2	2.0
橿本市・伊都郡	62	40.3	32.3	27.4	25.8	27.4	14.5	17.7	14.5	6.5	11.3	6.5	9.7	4.8	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	4.0
有田市・有田郡	44	43.2	43.2	29.5	27.3	13.6	13.6	15.9	15.9	6.8	2.3	2.3	13.6	6.8	6.8	0.0	4.5	0.0	2.3	3.0
御坊市・日高郡	44	38.6	27.3	38.6	13.6	22.7	13.6	22.7	18.2	6.8	4.5	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	4.0
田辺市・西牟婁郡	67	46.3	43.3	37.3	19.4	10.4	21.3	11.9	16.4	10.4	7.5	6.0	4.5	6.0	3.0	3.0	1.5	0.0	0.0	3.0
新宮市・東牟婁郡	49	30.6	30.6	28.8	18.4	28.8	20.4	14.3	20.4	4.1	2.0	6.1	12.2	6.1	2.0	6.1	4.1	0.0	6.1	1.0
男性																				
和歌山市	147	29.9	25.9	34.0	25.2	31.3	19.7	11.6	15.0	15.6	10.2	6.1	3.4	4.1	2.7	7.5	3.4	0.0	5.4	3.0
海南市・紀美野町	33	30.3	21.2	30.3	30.3	39.4	31.3	12.1	18.2	9.1	6.1	9.1	3.0	9.1	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	1.0
岩出市・紀の川市	58	31.0	25.9	20.7	27.6	29.3	20.7	10.3	13.8	13.8	13.8	5.2	6.9	10.2	3.4	1.7	1.7	0.0	6.9	3.0
橿本市・伊都郡	48	29.2	33.3	31.3	20.8	22.9	16.7	14.6	17.1	12.5	12.5	6.3	18.8	2.1	4.2	0.0	4.2	0.0	6.3	1.0
有田市・有田郡	37	32.4	32.4	32.4	16.2	27.0	13.5	13.5	18.9	10.8	10.2	5.4	5.4	5.4	0.0	2.7	0.0	0.0	10.8	3.0
御坊市・日高郡	33	27.3	21.2	33.3	27.3	27.3	15.2	6.1	12.1	6.1	9.1	3.0	15.2	6.1	3.0	0.0	6.1	0.0	12.1	2.0
田辺市・西牟婁郡	41	29.0	22.0	34.1	24.4	24.4	19.5	14.6	9.8	7.3	0.0	4.9	2.4	4.9	2.4	7.3	4.9	2.4	4.9	4.0
新宮市・東牟婁郡	38	28.9	24.2	28.9	31.6	31.6	13.2	5.3	15.8	7.9	15.8	10.2	15.8	2.6	2.6	10.2	7.9	2.6	0.0	1.0

居住地域別にみると、男女ともに、「育児・介護に対する多様な支援を充実する」もしくは「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」という意見の割合がほとんどの地域で最も高くなっている。女性では「岩出市・紀の川市」で、「育児・介護に対する多様な支援を充実する」が50.0%と最も高く、「仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)を支援する」においても「岩出市・紀の川市」が48.4%と最も高くなっている。男性では「新宮市・東牟婁郡」で、「男女平等の視点から、社会制度や慣習を見直すとともに、啓発を行う」が39.5%と最も高くなっている。(表29-1-3)

